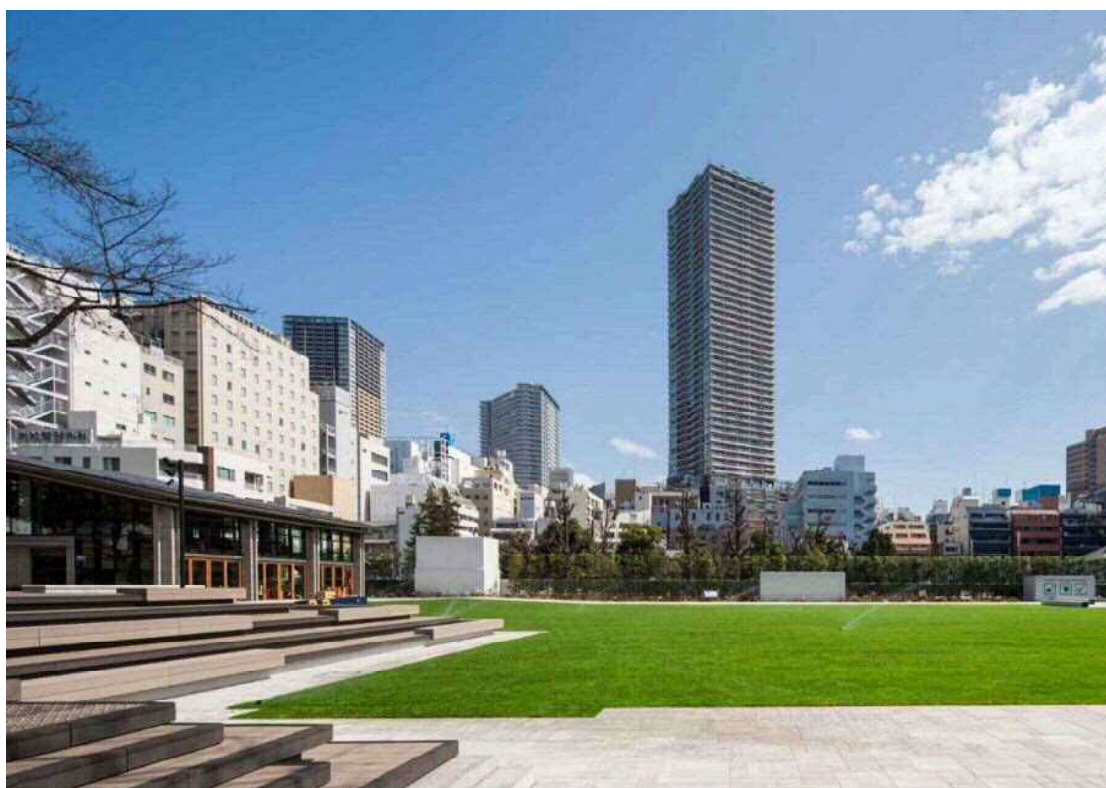


豊島区住宅白書 2018



豊 島 区

平成 30 年3月

1-1 指標の達成状況

住宅マスタープランの目標の達成度を図るため、指標を設定していることから、目標値と実績値との比較に基づく評価を行います。

①住宅の広さと居住水準

指標	計画策定時	目標値	実績
住戸面積50㎡以上の住宅ストックの割合	41.0% (平成20年)	50%以上 (平成30年)	46.0% (平成25年)

資料：住宅・土地統計調査

計画策定時に比べて5.0ポイント上昇しました。

指標	計画策定時	目標値	実績
最低居住面積水準未満	20.2% (平成20年)	解消（5%程度） (平成30年)	20.8% (平成25年)
誘導居住面積水準以上	30.0% (平成20年)	50% (平成30年)	35.3% (平成25年)

資料：住宅・土地統計調査

最低居住面積水準*未満の世帯割合は、計画策定時に比べて0.6ポイント上昇、誘導居住面積水準*以上の割合の世帯割合も5.3ポイント上昇しています。

②住宅のバリアフリー化

指標	計画策定時	目標値	実績
高齢者等のための設備がある住宅の割合	35.9% (平成20年)	50% (平成30年)	44.0% (平成25年)

資料：住宅・土地統計調査

計画策定時に比べて8.1ポイント増加し、目標値に近づきました。

③住宅の耐震化

指標	計画策定時	目標値	実績
住宅の耐震化率	82.0% (平成24年度)	90% (平成27年度)	88% (平成27年度)

資料：豊島区耐震改修促進計画

計画策定時に比べて6.0ポイント増加し、目標値に近づきました。